

「長池かいぼり11/3(日)」のご報告



■11/3(日)、生態系改善を目指した「長池かいぼり」が行われました。



●10月後半よりポンプやサイフォンを使って池の水を抜きはじめましたが、例年になく水量の流入がある中、思うように減水できず、ポンプを増設、ボートを投入するなどして実施にこぎつけました。

●当日は、井の頭かいぼり隊や認定 NPO 法人生態工房を中心に、環境工科専門学校、ヤマザキ動物看護大学、玉川大学の教職員や学生のサポートのもと、事前申込みで受け付けた体験参加者が胴長に身を包んで池に入り、たも網を使って生物の捕獲に挑戦しました。しかし、浅くなった池といっても泥が深くたまっており、参加者は池の中を歩くことすら難航。そこで、池の水位をさらに下げ、タイヤやソリなどを使った移動のコツなどを教わり、活動も終盤となって、オオクチバス(ブラックバス)やブルーギルなどが捕獲されるようになり、子ども達からも歓声があがりました。展示ブースには、記録と計測の終わった生きものが次々と運ばれ、水槽に入れられた生きものを大勢の来園者が興味深く見入っていました。

●午後は一般参加者に替わり、かいぼり隊と生態工房、学生たちで生きものの捕獲活動を続け、おおむね魚類の捕獲が一段落したところで無事に終了となりました。終わってみれば、捕獲された魚は500匹以上の外来魚に対し、在来魚がたったの 8 匹！今さらながら、外来魚による生態系の変化の激しさを思い知らされた結果でした。

●今後は、来年2月にかけて低水位を保ち、岸辺の泥を干しながら、残った外来種の捕獲、浅場づくりや一部泥あげ、樹木の一部伐採などを行い、春には水位を元に戻す計画です。引き続き、長池の自然回復のため、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



《捕獲された生きもの》

【外来種】

オオクチバス:110匹 ブルーギル:395匹 ウシガエル:24匹(成体とオタマ合計) ミシシippアカミミガメ:2匹
アメリカザリガニ:44匹

【在来種】

ヨシノボリ類:8匹 コシアキトンボのヤゴ:5匹

* 特定外来生物を含む外来種は適正に処分し、一部を研究用に冷凍保存しています。在来種は、築池に放流し、一部を館内で飼育しています。